



## 2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月2日  
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社  
 コード番号 4958 URL http://www.t-hasegawa.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	37,718	2.3	3,853	△0.9	4,174	△0.2	3,043	1.8
2018年9月期第3四半期	36,862	4.2	3,888	△11.1	4,181	△11.7	2,990	△10.0

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △279百万円 (—%) 2018年9月期第3四半期 6,751百万円 (△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	73.08	72.88
2018年9月期第3四半期	70.48	70.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	113,663	91,317	80.2
2018年9月期	118,690	94,582	79.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 91,137百万円 2018年9月期 94,432百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2019年9月期	—	17.00	—		
2019年9月期（予想）				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,200	4.9	5,500	8.7	5,900	7.0	4,300	4.9	103.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	42,708,154株	2018年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	1,257,155株	2018年9月期	270,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	41,647,144株	2018年9月期3Q	42,434,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の減速等が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。なお、第1四半期連結会計期間より、米国を除く海外連結子会社において、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。比較を容易にするため、前年同期の売上高を同様の基準で算定した場合の前年同期比を、以下「実質」として記載しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は37,718百万円（前年同期比2.3%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比2.8%の増収、海外連結子会社の売上高は、中国子会社連結が前年同期比実質8.0%の減収（現地通貨ベースでは同3.1%の減収）、米国子会社連結が前年同期比6.6%の増収（現地通貨ベースでは同5.8%の増収）、マレーシア子会社（2019年4月1日付でPeresscol Sdn. Bhd. からT HASEGAWA FLAVOURS (KUALA LUMPUR) SDN. BHD. に社名変更）が前年同期比1.6%の増収（現地通貨ベースでは同4.0%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社単体及び米国子会社連結の売上が増加したことを主因に前年同期比3.1%増加し、32,186百万円となりました。

フレグランス部門は、中国子会社連結の売上が減少したことを主因に前年同期比2.2%減少し、5,531百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上増により売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ35百万円（0.9%）減少し、3,853百万円となりました。経常利益は営業利益が減少したものの、受取配当金等の増加に伴い営業外収益が増加し、前年同期並み（前年同期比0.2%減少）の4,174百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の減少を主因に前年同期に比べ52百万円（1.8%）増加し、3,043百万円となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

（日本）

売上高は28,222百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は3,368百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

（アジア）

売上高は5,898百万円（前年同期比実質4.9%減）、セグメント利益は348百万円（前年同期比38.9%減）となりました。

（米国）

売上高は4,412百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は70百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が522百万円、商品及び製品が358百万円、原材料及び貯蔵品が225百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が999百万円減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ151百万円増加し、51,891百万円となりました。

## (固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進行した結果、有形固定資産が1,363百万円、無形固定資産が806百万円それぞれ減少しました。また、投資その他の資産が、株価の下落に伴い投資有価証券が減少したことなどにより、3,008百万円減少しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ5,178百万円減少し、61,771百万円となりました。

## (流動負債)

前連結会計年度末に比べ、賞与引当金が819百万円、未払法人税等が170百万円それぞれ減少したことを主因に、流動負債は前連結会計年度末に比べ988百万円減少し、9,676百万円となりました。

## (固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が896百万円減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ774百万円減少し、12,669百万円となりました。

## (純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、自己株式1,000,000株の取得を行った影響及び、その他有価証券評価差額金が2,086百万円減少したことを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ3,264百万円減少し、91,317百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,121	12,185
受取手形及び売掛金	17,141	17,664
有価証券	6,999	5,999
商品及び製品	7,086	7,444
仕掛品	111	157
原材料及び貯蔵品	7,304	7,530
その他	980	942
貸倒引当金	△5	△33
流動資産合計	51,740	51,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,155	16,227
その他(純額)	13,459	13,023
有形固定資産合計	30,615	29,251
無形固定資産		
のれん	3,480	2,990
その他	3,803	3,485
無形固定資産合計	7,283	6,476
投資その他の資産		
投資有価証券	28,071	25,092
退職給付に係る資産	21	22
その他	1,007	974
貸倒引当金	△49	△45
投資その他の資産合計	29,051	26,043
固定資産合計	66,950	61,771
資産合計	118,690	113,663
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,280	5,482
1年内返済予定の長期借入金	0	0
未払法人税等	663	492
賞与引当金	1,299	479
役員賞与引当金	63	—
その他	3,357	3,220
流動負債合計	10,664	9,676
固定負債		
長期借入金	1	0
繰延税金負債	5,553	4,656
退職給付に係る負債	6,826	6,985
資産除去債務	68	68
長期末払金	914	892
その他	80	67
固定負債合計	13,443	12,669
負債合計	24,108	22,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,295	7,297
利益剰余金	64,917	66,490
自己株式	△309	△1,855
株主資本合計	77,268	77,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,253	15,166
為替換算調整勘定	261	△1,012
退職給付に係る調整累計額	△350	△312
その他の包括利益累計額合計	17,164	13,840
新株予約権	149	180
純資産合計	94,582	91,317
負債純資産合計	118,690	113,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	36,862	37,718
売上原価	22,637	23,272
売上総利益	14,225	14,446
販売費及び一般管理費	10,336	10,592
営業利益	3,888	3,853
営業外収益		
受取利息	46	63
受取配当金	184	203
その他	92	88
営業外収益合計	324	355
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	26	26
その他	4	8
営業外費用合計	31	34
経常利益	4,181	4,174
特別利益		
投資有価証券売却益	63	—
特別利益合計	63	—
特別損失		
固定資産廃棄損	40	49
特別損失合計	40	49
税金等調整前四半期純利益	4,204	4,125
法人税等	1,214	1,081
四半期純利益	2,990	3,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,990	3,043

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,990	3,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,071	△2,086
為替換算調整勘定	△336	△1,273
退職給付に係る調整額	25	37
その他の包括利益合計	3,760	△3,323
四半期包括利益	6,751	△279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,751	△279
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,565百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,855百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国を除く海外連結子会社において、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,786	6,035	4,041	36,862	—	36,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	646	322	75	1,045	△1,045	—
計	27,433	6,357	4,117	37,908	△1,045	36,862
セグメント利益	3,161	570	179	3,911	△22	3,888

(注) 1. セグメント利益の調整額△22百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額40百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△63百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,668	5,742	4,307	37,718	—	37,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	554	156	105	815	△815	—
計	28,222	5,898	4,412	38,534	△815	37,718
セグメント利益	3,368	348	70	3,787	66	3,853

(注) 1. セグメント利益の調整額66百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額52百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額13百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。